

～とうきょうすくわくプログラム～ R7.5.19
様々な素材と出会う造形活動を中心とした表現遊び

5歳児
そら組



講師に木村桂子先生をお迎えして、絵具を使った表現活動を楽しみました。そら組は「新緑」がテーマでした。「茶色のクレヨン」を横(クレヨンの腹の部分)を使って、木の幹を描き、「緑の絵具」で葉っぱを描きました。クレヨンも絵具も濃い色や薄い色など、何色か用意し、子どもたちが自分のイメージで色を混ぜ合わせたり塗り分けたりしながら、オリジナルの木々が出来上がりました。また、仕上げには、新たな教材である「チョーク」も使いました。指やティッシュでこすることでより味わいのあるそら組の森が完成しました。



何度も塗り重ねて自分のイメージの木の幹を作っています。

葉っぱはこんな形にしよう！



今度はどの色の葉っぱにしようかな？



同じ色のクレヨン、絵具を使ってもそれぞれの表現の仕方が異なり、配色や色の濃淡を調整して自分なりに試行錯誤している姿が印象的でした。当日だけではなく、次の日も引き続き学級で活動を楽しむ姿が見られました。

4歳児
やま組

やま組は「デカルコマニー」を楽しみました。紙に色を塗って半分に折り、転写してできた模様を楽しむ技法です。チョウやカブトムシなどの昆虫を作り、やま組の昆虫ランドが出来上がりました。

同じ色を使っているにも出来上がる模様は同じものは1つもなく、子どもたちは夢中になって何度も繰り返し活動を楽しんでいました。

また、色や模様が混ざることによって新たな色ができたり、折りたたむことで予想していなかった模様が出来上がったりするなど、さまざまな色や模様とたくさん出会いました。

「こうしたらどうなるだろう?」「こういう風にするにはどうしたらよいだろう?」とワクワクしながら試し、工夫している姿が印象的でした。



力を込めてギューっ！
しっかり写るようにたくさん擦ろう！



今度はこの色とこの色を使ってみよう！
どんな色になるかな？



どんな模様になるかな？
色は写るかな？

